

# 水産研究部企画調整事業

景平真明・日高悦久

## 事業の目的

農林水産研究指導センター水産研究部の企画調整機能を充実・強化するため、「企画調整」、「広報広聴」及び「研修」に係る業務を行った。

### 1. 企画調整事業

水産研究部の管理担当、企画指導担当、栽培資源チーム、養殖環境チーム及び浅海・内水面グループの浅海チーム、内水面チームの業務や予算等を調整し、組織の円滑な運営と調査・研究の効率的な推進を図る。

また、農林水産研究指導センター本部をはじめ、関連機関との連絡調整、情報交換等を行い、研究課題等を企画、立案する。

### 2. 広報広聴事業

各種のメディアを通じて、調査・研究結果を積極的に公表・伝達する広報活動と、漁業現場のニーズを的確に把握して業務に反映させるための広聴活動を行い、水産情報拠点としての機能の充実に努める。

### 3. 研修事業

国内外からの研修や視察に積極的に対応し、開かれた研究機関としての機能の強化を図る。

## 事業の方法

### 1. 企画調整事業

#### 1) 大分県水産研究企画調整会議

漁業者ニーズに迅速、的確に対応し、効率的な調査・研究活動を推進することにより、本県水産業の振興発展を図るため、大分県水産研究企画調整会議設置要綱に基づき会議を運営した。会議は原則として月1回の開催を計画した。また、センター本部が主催する農林水産研究指導センター企画調整会議（メンバー：企画指導担当総括及び浅海チームリーダー）及びセンター所属長会議（メンバー：部長、グループ長）に参加した。

#### 2) 研究予算調整

限られた予算を有効に活用し、効率的な研究・開

発を推進するため、水産研究部（上浦）と浅海・内水面グループの研究予算等の調整と運用を行った。

#### 3) 大分県水産研究推進検討委員会（所内評価）

研究課題の推進に際し、必要な助言、評価及び検討を行うことにより、研究レベルの向上と効率化を図るため、設置要綱に基づき委員会を運営した。

#### 4) 大分県農林水産部試験研究外部評価委員会 専門部会

本県水産業の振興発展に有益な試験研究を進めるため、大分県農林水産部試験研究推進本部設置要綱並びに試験研究評価実施要領に基づき、学識経験者等の外部委員から構成される水産研究部外部評価委員会専門部会を開催した。

### 2. 広報広聴事業

#### 1) 広報

##### A. 研究発表会等

水産研究部の研究者の資質向上、情報交換を目的として、大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会を開催した。さらに、一般消費者を対象に、豊かで安全・安心な食を提供するための研究機関の取り組みを紹介することを目的にセンター本部が開催した研究紹介で水産関係の試験研究の取り組みを発表した。

##### B. 刊行物等

###### a) 事業報告書

刊行物投稿規約に基づき、平成 23 年度事業について、水産研究部（上浦）と浅海・内水面グループ分をまとめた事業報告書を作成し、ホームページで公開した。

###### b) 広報紙 AQUA-NEWS

広く県内外の水産関係者等に研究成果等の情報を発信するため、広報紙 AQUA-NEWS を編集、発行した。

##### C. インターネットによる水産業情報の発信

水産研究部のホームページ（アドレス：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/15090/>）において、水温情報、漁況海況予報、緊急赤潮情報等の各種情報の提供を行った。

#### 2) 広聴

##### A. 水産研究・普及連絡会議

研究者と水産業普及指導員との連携を強化し、漁業現場の情報や要望を研究課題に反映させるため、水産研究・普及連絡会議を開催した。

#### B. 県漁協支店運営委員長・市町村水産担当課長会議

水産研究部に対する漁協や市町村の要望や意見を聴取して研究課題に反映させるとともに、水産研究部の最新研究情報を伝達するため、県漁協支店運営委員長・市町村水産担当課長会議を開催した。

### 3. 研修事業

#### 1) 視察・研修受入

開かれた研究機関として機能することを目的として、視察、見学者への説明や案内等を行った。

また、必要に応じ、部門ごとの研修、国外からの現地視察や実習等にも対応した。

## 事業の結果

### 1. 企画調整事業

#### 1) 大分県水産研究企画調整会議

今年度は会議を9回開催し、各部所の行事、予算及び研究課題等の連絡調整を行い、水産研究部としての方針を決定した。

#### 2) 研究予算調整

本部策定の予算編成方針及び水産研究部が定めた予算編成方針に基づき、各担当・チームから要求があった試験研究及び施設整備等の予算を取りまとめた。

#### 3) 大分県水産研究推進検討委員会（所内評価）

2013年6月10日、6月14日に委員会による部・グループのヒアリングを開催し、評価、助言、指導を行った。

#### 4) 大分県農林水産部試験研究外部評価委員会 専門部会

2013年6月21日に水産研究部外部評価委員会専門部会を開催し、新規4課題について技術的なアドバイスを聞いた。(表1-1、表1-2)。

### 2. 広報広聴事業

#### 1) 広報

##### A. 研究発表会等

2014年1月29日、30日に大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会を開催し、水産研究部9課題、浅海・内水面グループ4課題、水産業普及指導員3課題の研究発表があった(表2)。

また、2013年12月10日に開催された農林水産研究指導センター研究紹介で内水面チーム内海主任研究員が「泥を排除した水槽で泥鰌から鱸へ～老

舗が絶賛する大分ドジョウ～」を発表し、屋内無泥養殖ドジョウの唐揚げの試食を行った。

#### B. 刊行物等

##### a) 事業報告書

水産研究部、浅海・内水面グループの平成24年度の事業報告を編集、作成し、ホームページで公開した。

##### b) 広報紙 AQUA-NEWS

本年度は、7月に第37号、1月に第38号を編集、発行し、県内外の関係機関に配布した。

#### C. インターネットによる水産業情報の発信

水産研究部のホームページにおいて、水温情報、漁況海況速報、予報並びに緊急赤潮情報等の各種情報の提供を行った。

#### 2) 広聴

##### A. 水産研究・普及連絡会議

2013年5月28日(水産研究部)、6月4日(浅海・内水面グループ)に連絡会議を開催した。

普及指導員から要望が出された事項については、各チーム・担当において対応した。

##### B. 県漁協支店運営委員長・市町村水産担当課長会議

2013年6月5日に北海部沿岸地域、6月7日に佐伯市沿岸地域、6月18日に豊前海沿岸地域、6月19日に東国東・別府湾沿岸地域を対象としてそれぞれ会議を開催した。

表3に会議で報告した研究情報を示す。

### 3. 研修事業

#### 1) 視察・研修受入

小学生の団体見学を中心に、多くの視察、見学及び現地実習等に対応した。

表4に視察受入実績を示す。

また、赤潮、魚病、水産加工等各担当ごとのテーマ別研修も実施した。

表 1-1 大分県農林水産部試験研究（水産研究部）外部評価委員会名簿

所 属	役 職	氏 名	備 考
九州大学大学院農学研究院	教 授	松山 倫也	学識経験者
(独) 水産総合研究センター 瀬戸内海区水産研究所	業務推進部長	北村 章二	学識経験者
(独) 水産総合研究センター増養殖研究所 (上浦庁舎)	養殖技術部長	岩本 明雄	学識経験者

表 1-2 大分県農林水産部試験研究（水産研究部）外部評価委員会専門部会に付託した研究課題

研究課題名	担当チーム	研究期間
釣り漁業における新たな漁法の開発	栽培資源チーム	H26～H28年度
陸上魚類養殖疾病対策	養殖環境チーム	H26～H28年度
ヒジキ資源の維持増大技術開発	浅海チーム	H26～H28年度
ナマコの増殖・放流技術の開発及び環境浄化機能の検証	浅海チーム	H26～H28年度

表 2 大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会の発表課題

発表課題名	発表者
RT-PCR法によるウイルス性出血性敗血症診断の問題点	養殖環境チーム 研究員 吉岡 左織
大分県沿岸の野生魚介類に寄生（着生）していた甲殻類3種	養殖環境チーム 専門研究員 福田 穰
クルマエビ養殖池を利用したアサリ養殖の可能性	浅海チーム 主幹研究員 田村 勇司
カボス投与によるブリ血合筋の褐変抑制効果の持続性	養殖環境チーム 主任研究員 木藪 仁和
呉崎地先におけるヒジキ試験養殖について	浅海チーム 主任研究員 斉藤 義昭
ガザミ活魚出荷方法改善試験	北部振興局 主 任 山田 英俊
ワムシ培養水の再利用	内水面チーム 主任研究員 内海 訓弘
ヒラマサ種苗生産技術開発	栽培資源チーム 研究員 堀切 保志
高水温に強いヒラメを探し出せ！	栽培資源チーム 主任研究員 金澤 健
ナルトビエイの移動生態について	浅海チーム 研究員 崎山 和昭
カマガリの生物特性	栽培資源チーム 主任研究員 徳光 俊二
アオナマコおよびクロナマコの成熟度調査 ～卵径から産卵期推定の試み～	浅海チーム 主任研究員 片野晋二郎
質問紙調査を用いたうすき海鮮朝市の現状分析	中部振興局 技 師 行平 真也
1日当たりの総産卵量(DEPM)による豊予海峡周辺海域におけるマアジの資源量推定	栽培資源チーム 研究員 西山 雅人
入津湾底泥の回収と利用の試み	養殖環境チーム 研究員 野田 誠
ELISA法を用いた貝毒監視体制の強化	養殖環境チーム 主任研究員 宮村 和良
ついに決着！？抱卵ガザミ保護の取り組み ～宇佐市担当普及員の継続的な取り組み～	北部振興局 主 査 中川 彩子

(注) 表は発表順である。連名発表は筆頭者のみ記載した。

表3 県漁協支店運営委員長・市町村水産担当課長会議等の開催実績と報告した研究情報

開催日（場所）	対象地域	研究情報・報告者
2013年6月5日 （県漁協津久見支店）	北海部海域沿岸	「大分県沿岸域に生息するイサキの資源生態 VPA による資源量推定の資産」 栽培資源チーム 研究員 西山 雅人
		「低水温期の疾病発生事例」 養殖環境チーム 主任研究員 木本 圭輔
2013年6月7日 （佐伯総合庁舎）	佐伯市沿岸	「アワビの成熟調査について」 栽培資源チーム 主任研究員 金澤 健
		「低水温期の疾病発生事例」 養殖環境チーム 主任研究員 木本 圭輔
2013年6月18日 （浅海・内水面グループ）	豊前海沿岸	「豊前海海底堆積物調査の結果」 浅海チーム 主幹研究員 岩野 英樹
		「豊前海に生息する生物の個体数と湿重量の分布状況」 浅海チーム 主任研究員 畔地 和久
		「砂質漁場におけるアサリの放流方法の開発 ～土嚢を使ったお得な方法～」 浅海チーム 主任研究員 片野晋二郎
		「標本船日誌からみた豊前海の漁獲状況」 浅海チーム 主任研究員 崎山 和昭
2013年6月19日 （日出総合庁舎）	東国東・別府湾沿岸	「クルマエビの放流時期と放流場所が放流効果に及ぼす影響」 浅海チーム 主任研究員 畔地 和久
		「ヒジキの生態調査と増殖試験」 浅海チーム 主幹研究員 岩野 英樹
		「標本船日誌からみた別府湾、東国東海域の漁獲状況」 浅海チーム 主幹研究員 田村 勇司

表4 視察等受入実績

区 分	水産研究部		浅海チーム		内水面チーム	
	件 数	人数 (人)	件 数	人数 (人)	件 数	人数 (人)
視察・見学	7	63	10	126	57	183
うち、国外※	3	44	0	0	0	0

※タイ、ニュージーランド、韓国

(注) 文書等により依頼があったもので、概数である。